

環境・CSR 報告書 2010

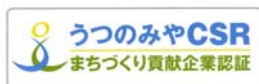
Environmental・CSR Report 2010



鬼怒グリーンパーク白沢（宇都宮市白沢町）に広がるポピー畑と青空（5月）

栃木県知事許可(般-18)第 16033 号

KYORITSU ELECTRICAL MANUFACTURING INDUSTRY Co.,Ltd.



(社)日本配電制御システム工業会 JSIA 優良認定工場
(社)公共建築協会評価書(盤類)取得工場
ISO9001・ISO14001 認証取得工場

株式会社 協立製作所

配電盤事業部・盤ドック事業部・防犯事業部

社長メッセージ

配電盤・制御盤メーカーとして社会に貢献できる企業へ

2006年1月にISO14001の認証を取得してから、地球環境問題への取り組みを定め、環境保全活動を積極的に推進してまいりました。ISO14001をはじめ、『ECOうつのみや21』認定（宇都宮商工会議所）、『エコキーパー事業所（三ツ星）』認定（栃木県）を受けております。さらに2009年12月には、『マロニエ ECO 事業所表彰』の「温室効果ガス削減部門」において特別賞を受賞し栃木県知事から表彰を受けました。

CSR活動においては、2009年11月に『宇都宮まちづくり貢献企業』に認定されました。また、2010年2月に『宇都宮市雇用優良事業所表彰』において優秀賞を受賞し、宇都宮市長から表彰を受けました。

このような環境への取り組み・CSR活動をつづけるなか、2009年6月に、「中小企業経営承継円滑化法」の経済産業大臣の確認を栃木県内第一号で受けることができました。これを機会として、2010年4月に企業の若返りを図り、トップの交代を行いました。この交代により、新しい経営感覚を採り入れ、地球環境にもやさしい企業活動を続け、自動制御盤・配電盤・監視制御装置の設計・製造を通し、国家・社会に貢献できる企業をめざし、より一層努力してまいります。

皆様方の一層の御支援・御指導をお願い申し上げます。

平成22年5月吉日
株式会社協立製作所
代表取締役社長 大谷津敏之



1. 環境報告

(1) 環境方針

(2) 事業活動により環境に与える影響

(3) 品質・環境管理体制

(4) 平成 21 年度の環境活動目標

(5) 廃棄物削減を目的としたリサイクル推進

(6) 推移グラフ 事務用紙使用量 (4 年間) 売上高ベース・量ベース
一般廃棄物排出量 (4 年間) 売上高ベース・量ベース
CO₂ 排出量 (4 年間) 売上高ベース・量ベース

(7) 省資源・省エネルギー活動の推進

写真 製品倉庫の採光屋根

写真 圧縮梱包設備による運搬の効率化

写真 センサーで自稼動する換気扇

写真 サーキュレーターを採用による空調の効率化

写真 高効率蛍光灯への交換

(8) 『盤ドック』サービスによる焼損事故の回避

(9) 社内緑化活動

(10) 油水分離層の定期的清掃・維持管理

(11) 協立クリーン大作戦

(12) 社外への改善提案の発信

1) 環境報告書の作成・公開

2) 環境マネジメントシステムの多面的導入

3) マロニエ ECO 事業所表彰 (栃木県知事表彰)

(13) 今後の環境活動目標

2 . CSR 報告

(1) 品質

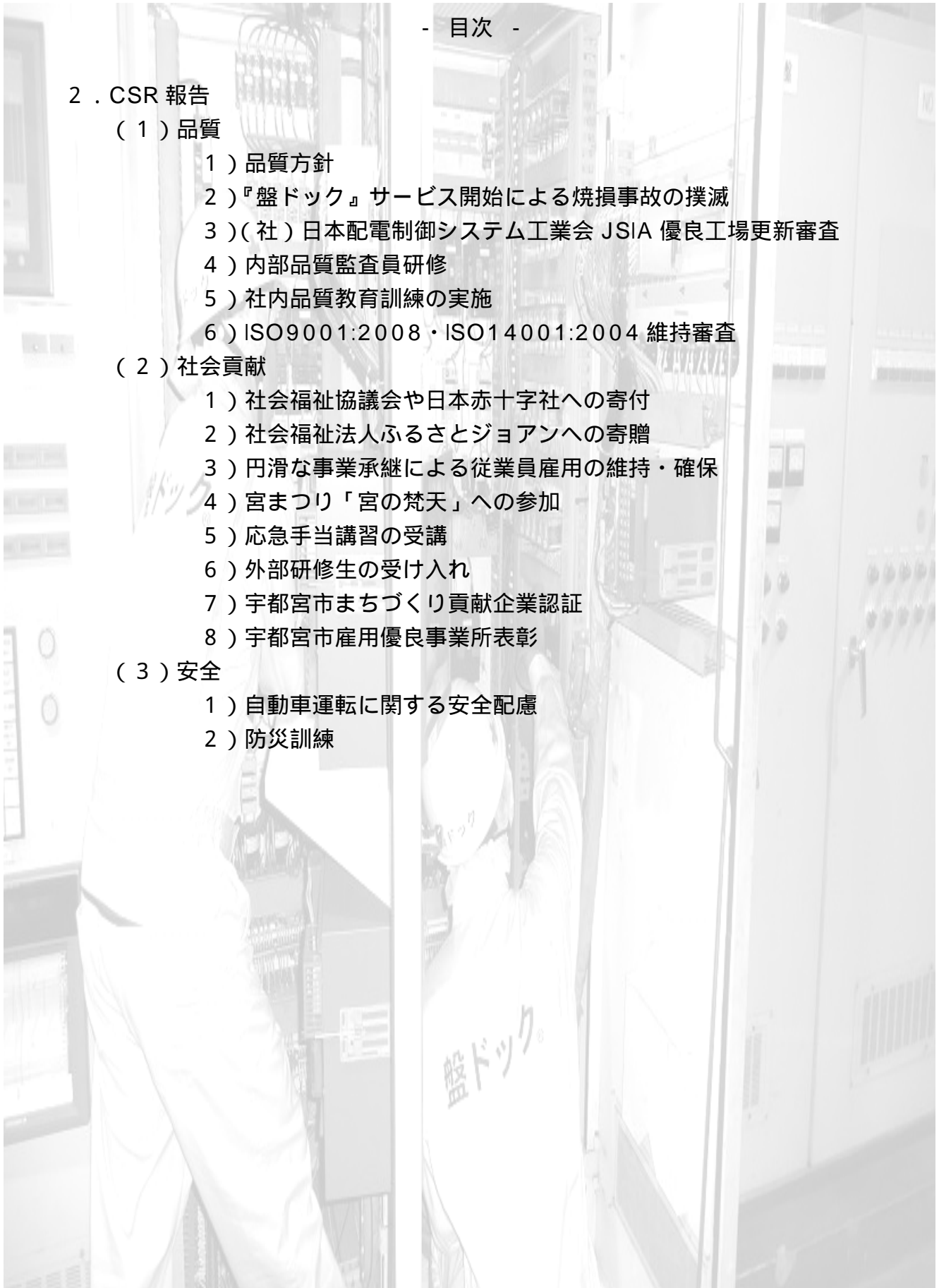
- 1) 品質方針
- 2) 『盤ドック』サービス開始による焼損事故の撲滅
- 3) (社)日本配電制御システム工業会 JSIA 優良工場更新審査
- 4) 内部品質監査員研修
- 5) 社内品質教育訓練の実施
- 6) ISO9001:2008・ISO14001:2004 維持審査

(2) 社会貢献

- 1) 社会福祉協議会や日本赤十字社への寄付
- 2) 社会福祉法人ふるさとジョアンへの寄贈
- 3) 円滑な事業承継による従業員雇用の維持・確保
- 4) 宮まつり「宮の梵天」への参加
- 5) 応急手当講習の受講
- 6) 外部研修生の受け入れ
- 7) 宇都宮市まちづくり貢献企業認証
- 8) 宇都宮市雇用優良事業所表彰

(3) 安全

- 1) 自動車運転に関する安全配慮
- 2) 防災訓練



環境報告

(1) 環境方針 クリーンで地球環境にやさしい配電盤づくりをめざします



弊社では、配電盤・制御盤の設計・製造活動をおこなうにあたり、品質・環境マネジメントシステムを設けています。

環境方針を定め、品質・環境マネジメントシステムの継続的改善を推進することにより、より地球環境にやさしい配電盤づくりをめざしています。

環境方針

《理念》

私達はクリーンな地球環境との共生を人類共通の課題と認識し、企業活動を通し安心できる社会と環境づくりに貢献します。

《行動方針》

1. 私達は環境法規制を順守し、弊社の環境マネジメントシステムに従い行動します。
2. 環境目標を設定し環境活動の定期的見直しと継続的改善に努めます。
3. 省資源・省エネルギー活動を推進し、廃棄物の削減と資源の有効利用に努めます。
4. 有害物質の使用を削減し、汚染の予防に努めます。
5. 二酸化炭素の発生量を削減し、地球温暖化防止に努めます。

2008年8月1日

株式会社 協立製作所

代表取締役 大谷津敏之

(2) 事業活動により環境に与える影響

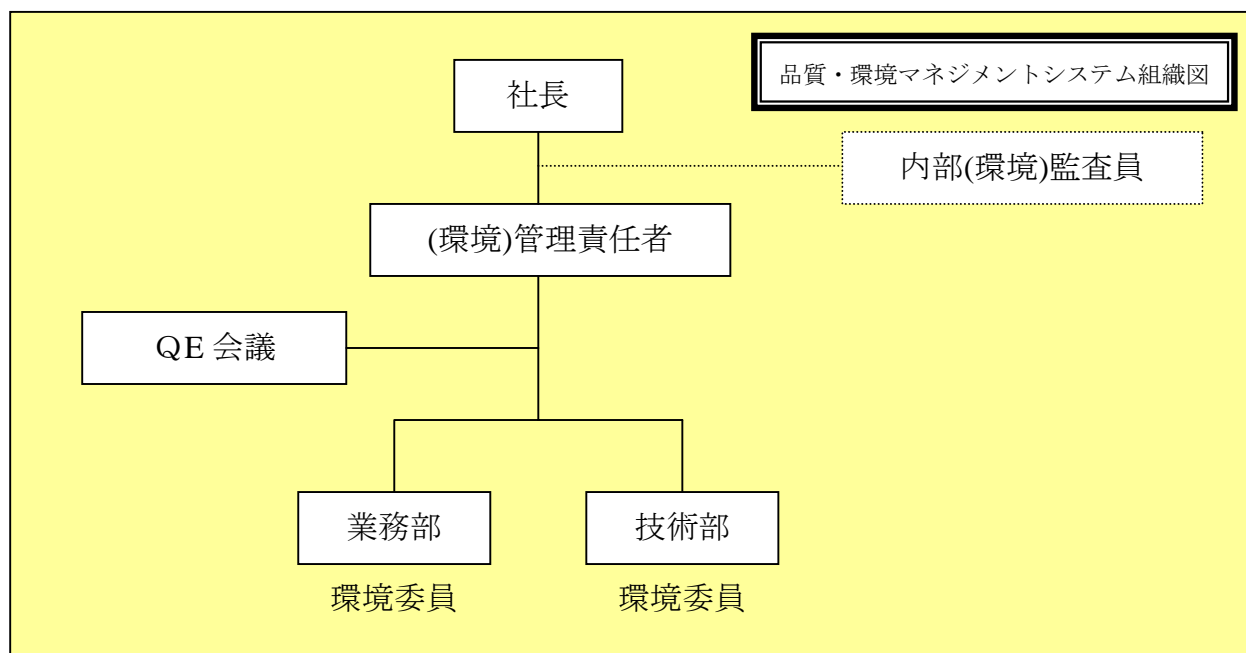
弊社は、制御盤、配電盤および監視制御装置の設計・製造を通し、お客様の一品毎の設計・製造のニーズに継続的に応えています。この事業活動のあらゆる段階における環境負荷の把握およびその低減を図るために様々な環境活動を推進しています。

環境に与える影響（OUTPUT）の要因になるもの（INPUT）として、生産活動における燃料や電気等のエネルギーの消費、部品の梱包材等の廃棄物、製品の設計段階および事務処理で発生するコピー用紙が主に挙げられます。これらのINPUTを効率的に活用し全体の使用量を削減するための活動を積極的に取り組んでいます。

この活動を推進していくことにより、大気汚染、廃棄物の排出の低減を図っています。

(3) 品質・環境管理体制

弊社では効果的かつ効率的な品質・環境マネジメントシステムの運用を図るために、有効な組織を構築し、役割や責任および権限を明確にしています。



内部環境監査員を置き、定期的に環境内部監査を行うことにより、環境マネジメントシステムの運用が効果的かつ効率的に働いているかどうかを評価しています。

また、定期に開催する品質および環境のマネジメントシステムに関する会議（QE会議：平成21年度は9回開催・平成22年度は9回開催予定）を通して、組織運営上の情報を共有化し、目標達成の有効性の確保に努めています。

さらに、環境マネジメントシステムの実行にあたり、社員一人ひとりの意識向上と環境に対する知識の習得のため、教育訓練を行っています。

(4) 平成 2 1 年度の環境活動目標

項目	目標	具体的な取組内容
省資源	一般廃棄物の削減	一般廃棄物の一部を資源ごみとしてリサイクル (分別の徹底)
地球温暖化防止	廃棄物焼却・燃料及び電気の消費により発生する CO ₂ の削減	電気・燃料使用量の削減 焼却する廃棄物の削減
プラスの環境影響	社外へ改善提案の発信	取引先等への環境に関する改善提案 外部との双方向性化

(5) 廃棄物削減を目的としたリサイクル推進

弊社では、製品の設計や業務活動においてコピー用紙を使用しており、製品を製造する過程で部品の梱包材等の一般廃棄物を排出しています。この結果、これら一般廃棄物の焼却および事業活動の展開を通して二酸化炭素が排出されています。貴重な資源を有効活用し今後の地球環境に大きく関わる二酸化炭素の排出を削減するためには、事業活動におけるリデュース、リユースおよびリサイクルの取り組みが重要であると認識し、

【省資源】として《一般廃棄物の一部を資源ごみとしてリサイクル (分別の徹底)》

【地球温暖化防止】として《電気・燃料使用量の削減焼却する廃棄物の削減》

【プラスの環境影響】として《取引先等への環境に関する改善提案、外部との双方向性化》

を 2 1 年度に取り組む内容とし、

一般廃棄物の削減

廃棄物焼却・燃料及び電気の消費により発生する CO₂ の削減

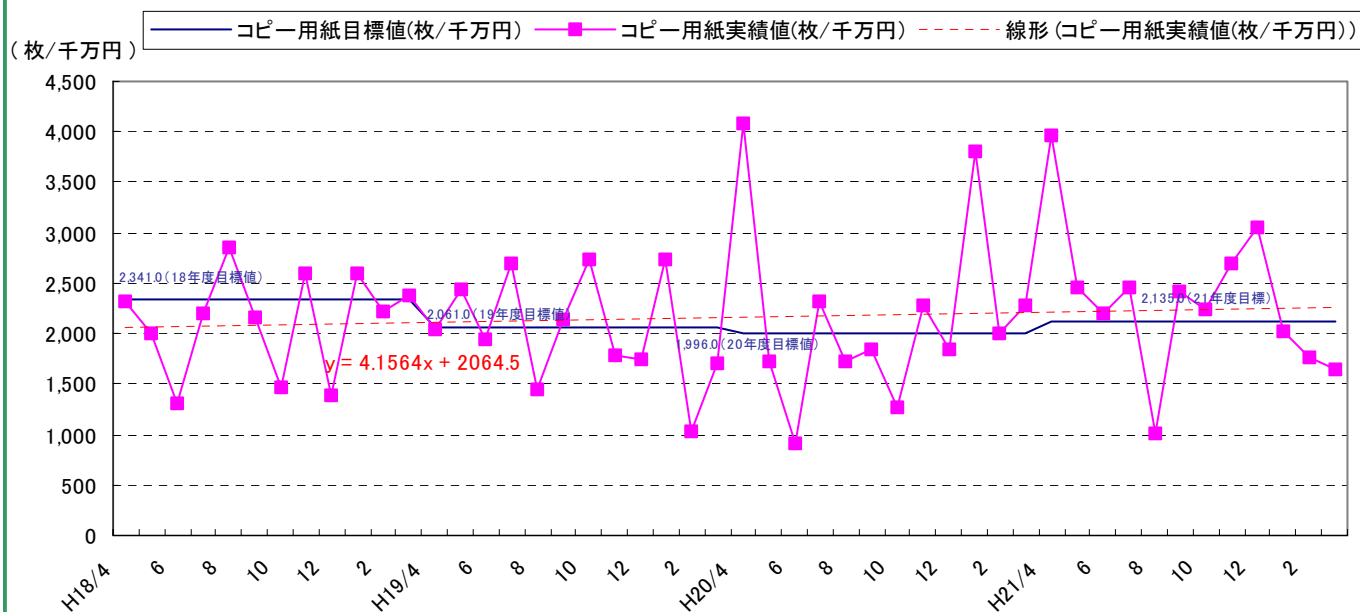
社外へ改善提案の発信

を目指し活動してきました。

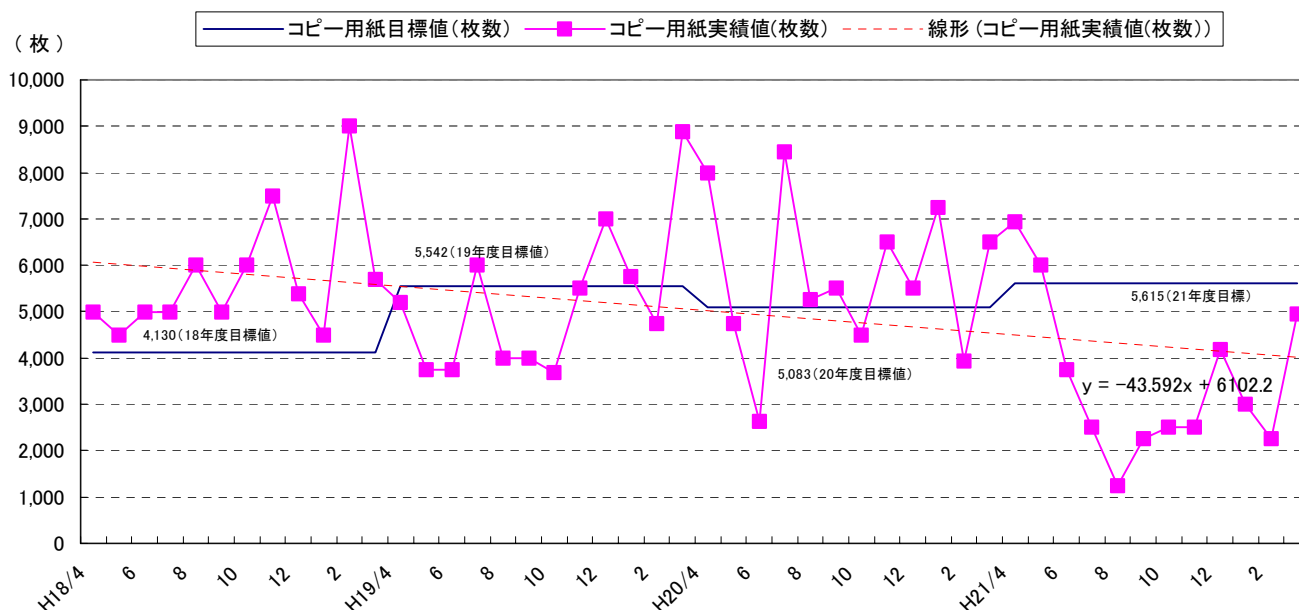
この結果、一般廃棄物は前年度対比で排出量ベースにおいて 20.0%削減、CO₂ は前年度対比で排出量ベースにおいて 16.9%削減、社外への改善提案の発信は、環境報告書の作成・公開、エコキーパー事業所認定、マロニエ ECO 事業所表彰受賞、エコドライブコンテストへの参加、宇都宮市まちづくり貢献企業認証などを通して実現することができました。しかし、売上高原単位においては、受注高の減少にともなう影響により昨年度と比較して増加してしまいました。

(6) 推移グラフ (コピー用紙使用量・一般廃棄物排出量・CO₂ 排出量)

コピー用紙使用量(4年間比較)



コピー用紙使用量(4年間比較)

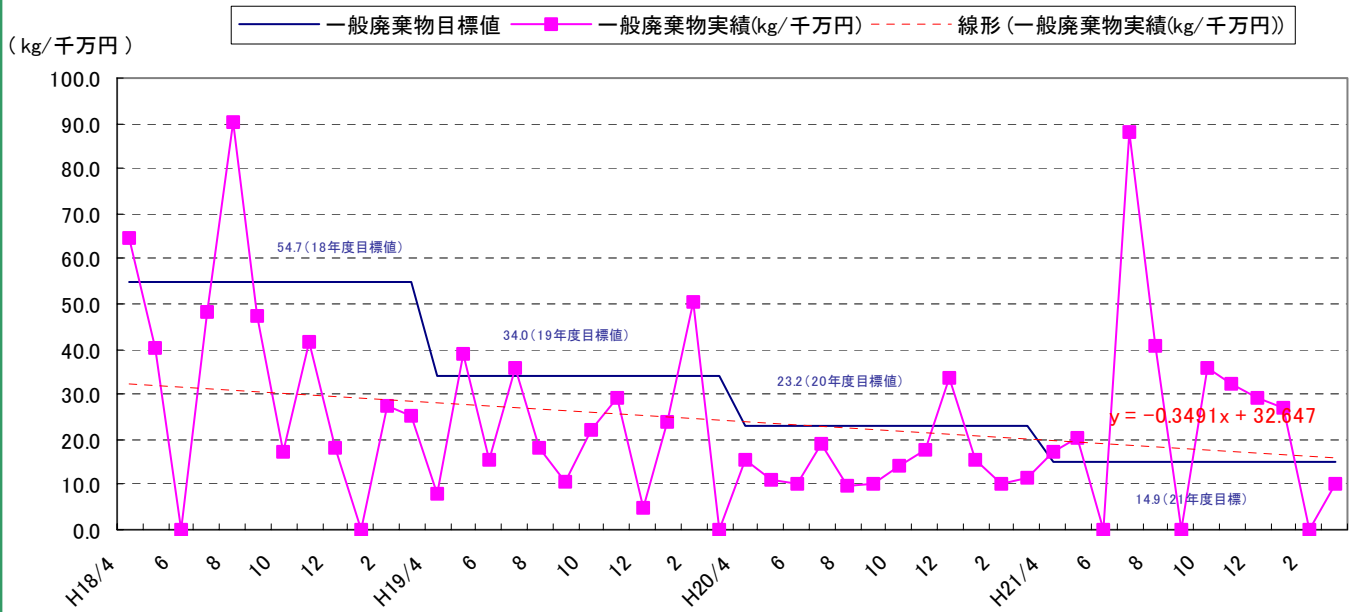


事務用紙使用量の推移

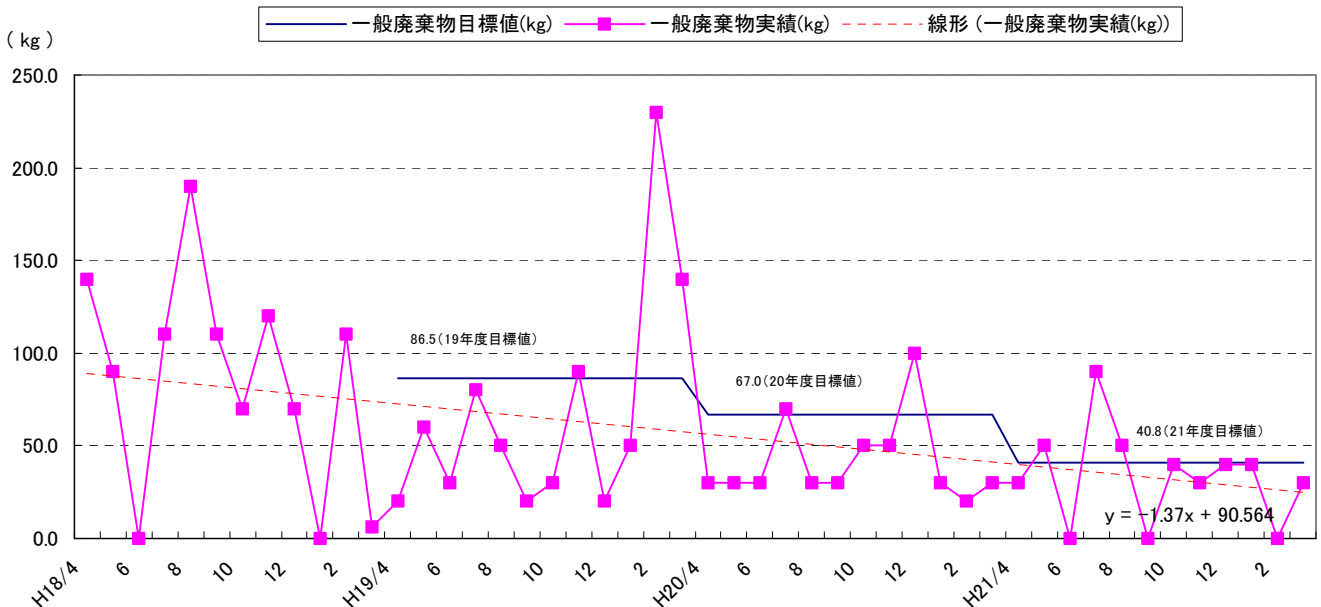
直近4年間の事務用紙使用量の推移のグラフです。反故紙の使用や両面印刷の励行により、近年まで事務用紙の使用量を減少させることができました。

下段のグラフは、枚数単位にもとづく4カ年の推移です。大手工場の設備投資抑制により、弊社でも受注量が減ったことにともない、事務用紙の使用量は例年に比べ大幅に低下しました。上段のグラフは、売上高原単位にもとづく4カ年の推移です。例年と比較して同じような割合で推移しています。

一般廃棄物(4年間比較)



一般廃棄物(4年間比較)



一般廃棄物の排出量の推移

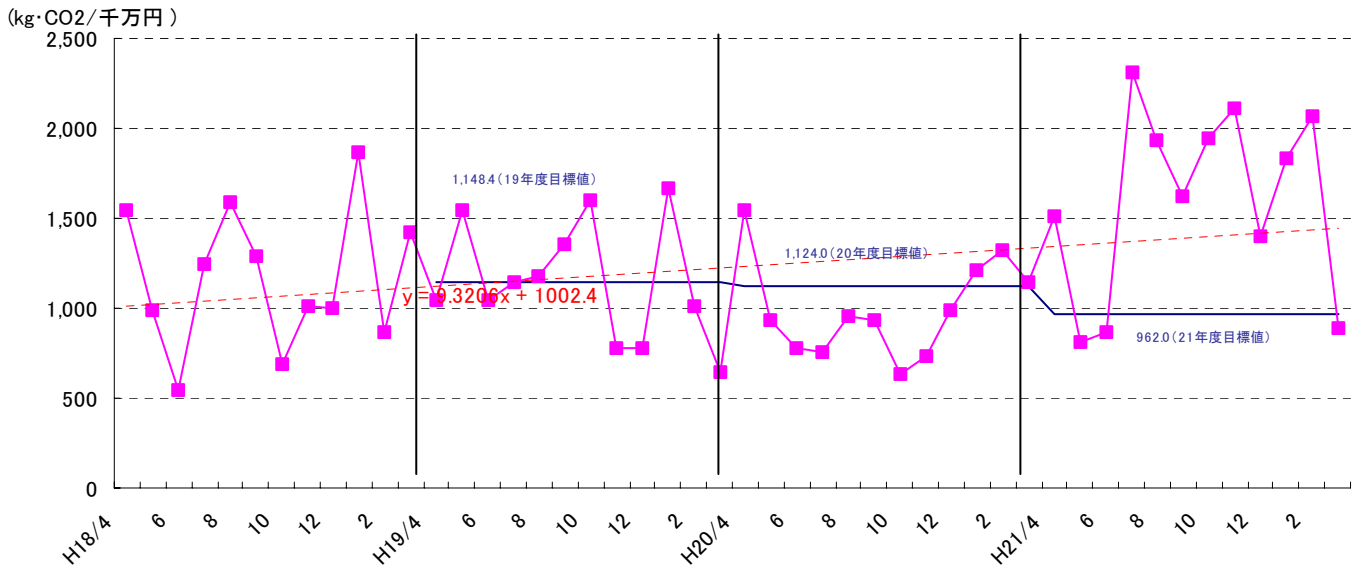
直近4年間にわたる一般廃棄物の排出量の推移のグラフです。

一般廃棄物は紙・布・木屑で構成されています。4年間の間において時間が経過するにたが、排出量が大幅に抑制されていることがわかります。これは、一般廃棄物の一部(ダンボール・厚紙)としていたものを「資源ごみ」としてリサイクル利用に転用したことや、事務用紙の使用方法に関して、反故紙の利用や両面印刷の励行を実施しているため、事務用紙の排出量が抑えられているためです。

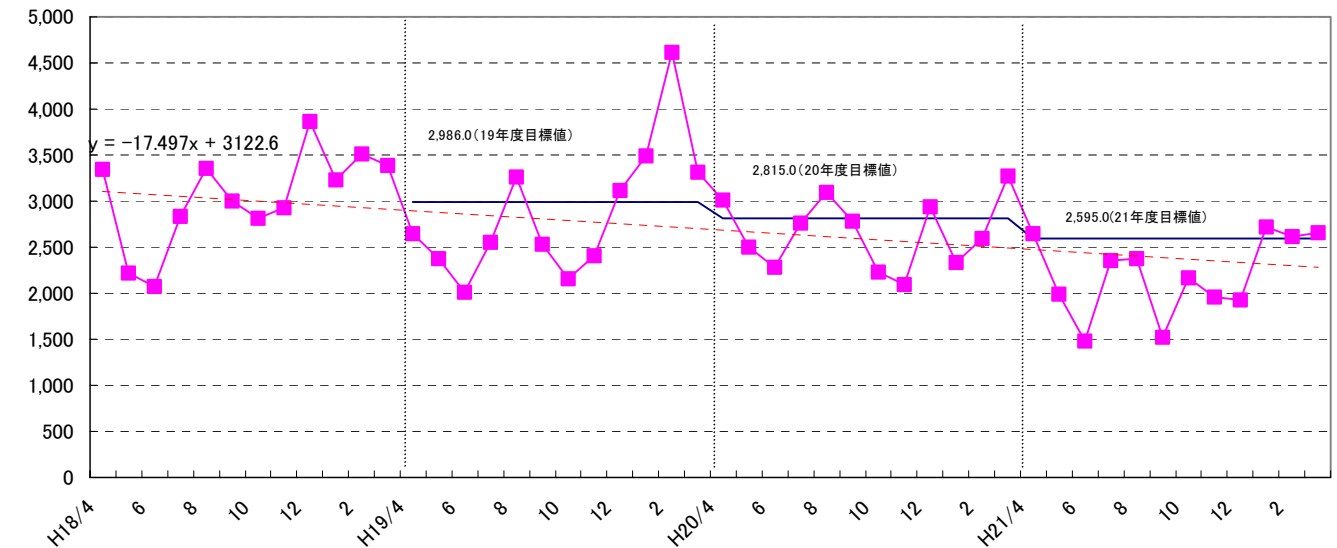
しかし、売上高原単位のグラフでは、当年度は目標値を上回ってしまいました。これは、大手工場の設備投資抑制にともなう当社の受注高が減ったことに起因します。

CO₂(4年間比較)

— CO₂排出量目標値(kg・CO₂/千万円) —■— CO₂排出量実績値(kg・CO₂/千万円) - - - 線形 (CO₂排出量実績値(kg・CO₂/千万円))



— CO₂排出量目標値(kg・CO₂) —■— CO₂排出量実績値(kg・CO₂) - - - 線形 (CO₂排出量実績値(kg・CO₂))



二酸化炭素の排出量の推移

直近4年間にわたる二酸化炭素の排出量の推移のグラフです。

二酸化炭素の排出は、主に自動車燃料の消費・電気エネルギーの消費で構成されています。下段のグラフはCO₂の排出量ベースにグラフです。排出量が緩やかではありますが抑制されていることがわかります。これは、エコドライブ等の実施による燃費の向上や事務所および工場の照明やエアコン等の電気を用いる設備について省エネルギー活動を積極的に実施しているため、二酸化炭素の排出量が抑えることができたためです。弊社での二酸化炭素排出量の削減活動が有効に機能しているといえます。

しかし、売上高原単位では、受注減に起因する影響のため増加してしまいました。

(7) 省資源・省エネルギー活動の推進

弊社では、「クリーンな地球環境との共生」を実現する活動のひとつとして「省資源・省エネルギー活動」を推進しています。当該活動の一環として、当年度は、倉庫採光屋根の清掃や事務所蛍光灯の高効率蛍光灯への変更、倉庫内換気扇のセンサーによる自動発停化、ホットマーカの稼動時間調査等を行ないました。



製品倉庫に採用した採光屋根
定期的に清掃を行い、昼間の省電を図っています



BISHAMON プレスキーミニ
サーマルリサイクル利用する廃プラの運搬
を効率化する圧縮減容機



人感センサーで自稼動
する倉庫内換気扇



空調温度の適性化・効率化を
図るためのサーキュレータ



高効率蛍光灯への交換

(8) 『盤ドック』サービスによる焼損事故の回避

締付不良等による焼損事故の防止のため、2009年2月より『盤ドック』（商標登録番号：第5241322号）サービスを開始しました。熱画像により過熱箇所を判断し、配電盤の焼損事故を防止するため、火災に伴うCO₂発生を抑えることにもつながります。

『盤ドック』とは？

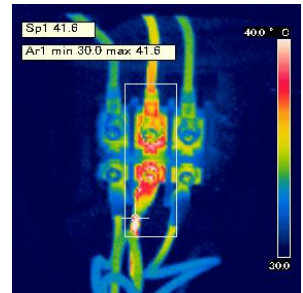
熱画像カメラ（サーモグラフィカメラ）を用いて配電盤および高圧キュービクル等の充電部の電気回路の**異常点**を発見する**非破壊検査**です。

締付不良・ネジの緩み等を原因とした**異常昇温による焼損事故**や事故の波及による**工場設備の稼働停止等**を未然に防ぐことに効果的です。

通常画像



熱画像



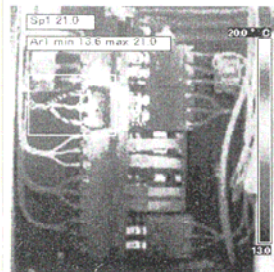
サーモグラフィカメラによる診断のイメージです。白の線に締付不良が確認できます。緑の線はアース線のため熱は発生していません。



官能検査による異常個所の発見

下野新聞 2009年(平成21年)9月3日(木曜日)

配電盤の焼損事故を防止



宇都宮の協立製作所

熱画像で過熱箇所診断

配電盤や自動制御盤の設計・製造の協立製作所(宇都宮市長門)は、線の接続部分のネジが緩むことで過熱・高対症を招く恐れがある。高対症を防止する「盤ドック」を協立製作所が導入し、7月に実施した。協立製作所は、7月に実施した。協立製作所は、7月に実施した。

一度、配電盤のトラブルに悩んでいた。協立製作所は、7月に実施した。協立製作所は、7月に実施した。

検査は熱画像撮影により、過熱箇所を特定し、異常箇所を修正する。協立製作所は、7月に実施した。協立製作所は、7月に実施した。

下野新聞 2009年9月3日

「配電盤の焼損事故を防止」当社の『盤ドック』がマスコミに取材され、その効果が掲載されました。



『盤ドック報告書』により不良箇所の早期対策が可能になります

(9) 社内緑化活動



社内の緑化を促進するため、会社敷地構内に『協立フラワーゾーン』を設けています。また、建物内にもさまざまな植物を育てています。



工場周辺の緑化に努め、隣接する緑地の手入れも同時に行い、風通しや防犯上の安全も図っています。



工場周辺の緑化活動



手入れ前



手入れ後

(10) 油水分離槽の定期的清掃・維持管理



弊社工場敷地内の油水分離槽の定期的な清掃を行ない、敷地外への油の流出を適切に防止しています。

油水分離槽管理記録簿	点検報告書	計量証明書	浄化槽法第11条検査結果書																																																
<table border="1"> <tr><th>槽名</th><td>第一槽</td></tr> <tr><th>容量</th><td>100m³</td></tr> <tr><th>清掃日</th><td>2023年10月15日</td></tr> <tr><th>清掃内容</th><td>浮遊物除去、底泥清掃</td></tr> <tr><th>清掃者</th><td>田中 太郎</td></tr> <tr><th>確認者</th><td>佐藤 花子</td></tr> </table>	槽名	第一槽	容量	100m ³	清掃日	2023年10月15日	清掃内容	浮遊物除去、底泥清掃	清掃者	田中 太郎	確認者	佐藤 花子	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>測定値</th><th>標準値</th></tr> <tr><td>油分濃度</td><td>15mg/L</td><td>20mg/L</td></tr> <tr><td>SS</td><td>10mg/L</td><td>15mg/L</td></tr> <tr><td>臭気</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> </table>	項目	測定値	標準値	油分濃度	15mg/L	20mg/L	SS	10mg/L	15mg/L	臭気	0.5	1.0	<table border="1"> <tr><th>槽名</th><td>第一槽</td></tr> <tr><th>容量</th><td>100m³</td></tr> <tr><th>清掃日</th><td>2023年10月15日</td></tr> <tr><th>清掃内容</th><td>浮遊物除去、底泥清掃</td></tr> <tr><th>清掃者</th><td>田中 太郎</td></tr> <tr><th>確認者</th><td>佐藤 花子</td></tr> </table>	槽名	第一槽	容量	100m ³	清掃日	2023年10月15日	清掃内容	浮遊物除去、底泥清掃	清掃者	田中 太郎	確認者	佐藤 花子	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>測定値</th><th>標準値</th></tr> <tr><td>油分濃度</td><td>15mg/L</td><td>20mg/L</td></tr> <tr><td>SS</td><td>10mg/L</td><td>15mg/L</td></tr> <tr><td>臭気</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> </table>	項目	測定値	標準値	油分濃度	15mg/L	20mg/L	SS	10mg/L	15mg/L	臭気	0.5	1.0
槽名	第一槽																																																		
容量	100m ³																																																		
清掃日	2023年10月15日																																																		
清掃内容	浮遊物除去、底泥清掃																																																		
清掃者	田中 太郎																																																		
確認者	佐藤 花子																																																		
項目	測定値	標準値																																																	
油分濃度	15mg/L	20mg/L																																																	
SS	10mg/L	15mg/L																																																	
臭気	0.5	1.0																																																	
槽名	第一槽																																																		
容量	100m ³																																																		
清掃日	2023年10月15日																																																		
清掃内容	浮遊物除去、底泥清掃																																																		
清掃者	田中 太郎																																																		
確認者	佐藤 花子																																																		
項目	測定値	標準値																																																	
油分濃度	15mg/L	20mg/L																																																	
SS	10mg/L	15mg/L																																																	
臭気	0.5	1.0																																																	

点検報告書・計量証明書・浄化槽法第11条検査結果書を白沢工業団地管理事務所から定期的に取り寄せ、適切な維持管理ができているかを確認しています。

(11) 協立クリーン大作戦

白沢工業団地内から近隣地域を範囲とした弊社従業員による地域清掃(協立クリーン大作戦)を毎月1回実施しています。拾ったゴミは、毎回、種類別に分別し、計測して適切に処分します。安全第一で行いますので、地域清掃へのご協力・ご理解をよろしくお願いします。



コンビニエンス・ストア付近～白沢工業団地内の地域清掃
(写真はH22年5月実施のもの)

クリーン大作戦用の
帽子とジャンパー

(12) 社外への改善提案の発信

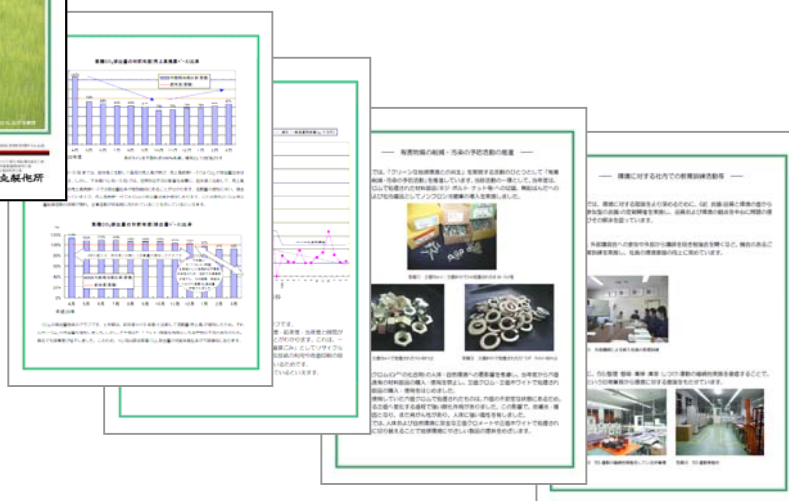
社内に関する環境活動に留まらず、プラスの環境影響を及ぼすことができるように、社外へ環境情報の公開や改善提案の発信(取引先等への環境に関する改善提案)を行なっています。このため、弊社の環境活動情報を公開し社外とのコミュニケーションを活発にするため、環境報告書の作成・公開しています。また外部からの情報をより早く入手するため、第三者による環境に関する外部審査を複数受けています。《ISO14001(DAS ジャパン)、エコキーパー事業所(栃木県)、ECOうつのみや21(宇都宮商工会議所)》、そのほかエコドライブコンテストへの参加など

1) 環境報告書の作成・公開



環境報告書 2008 の抜粋

弊社では、2006年にISO14001を認証取得してから、年1回環境報告書を作成しています。2008年度の報告からは、弊社ウェブページでも公開しており、どなたでも閲覧できるようになっています。



2) 環境マネジメントシステムの多面的導入

弊社では、『環境にやさしい配電盤づくり』をめざし、環境マネジメントシステムを多面的に導入しています。外部からの審査により客観的な環境マネジメントシステムを構築・運用しています。



ISO14001 認定証
(UKAS)



エコキーパー事業所認定
3つ星 (栃木県)



ECO うつのみや 21
(宇都宮商工会議所)

2005 年度に ISO14001 (UKAS) 認証取得

2008 年度に ECO うつのみや 21 (事業所版環境 ISO) (宇都宮商工会議所) 認証取得

2009 年度に ECO キーパー事業所 (栃木県) 認証取得

3) マロニエ ECO 事業所表彰 (栃木県知事表彰)

平成 21 年 12 月 5 日

とちぎ環境県民大会において弊社が栃木県知事より表彰されました。

マロニエ ECO 事業所表彰において特別賞 (温室効果ガス削減部門) を受賞しました。



栃木県知事と受賞者の記念撮影



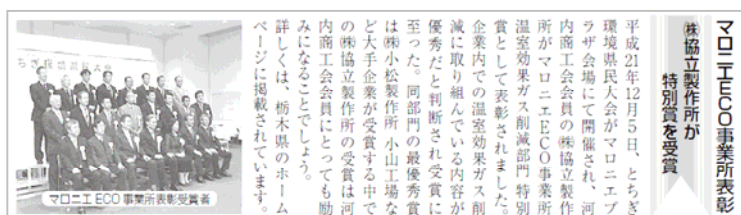
マロニエ ECO 事業賞表彰
温室効果ガス削減部門特別賞
栃木県知事表彰



マロニエ ECO 事業賞表彰
受賞記念メダル



エコキーパー



商工会かわら版 (河内商工会広報)

(13) 今後の環境活動目標

弊社では、今後の環境活動目標として

一般廃棄物の削減（一般廃棄物の一部を資源ごみとしてリサイクル）
地球温暖化防止（CO₂の削減/電気・燃料の使用の効率化・使用量の削減）
社外への改善提案の発信(取引先等への環境に関する改善提案)

を昨年に引き続き掲げています。

「社外への改善提案の発信」に関しましては、環境・CSR 報告書の内容充実や、白沢工業団地内をはじめ近隣地域において実施する地域清掃「協立クリーン大作戦」の継続など、社外に対してもプラスの環境影響を与えることができる行動を率先して実施していくことを計画しております。

このように「社外への改善提案の発信」を積極的におこない、クリーンな地球環境との共生をめざし、企業活動を通し安心できる社会と環境づくりに貢献できるよう努力していきたいと思っております。

今後とも、弊社における環境への取り組みをご理解いただくとともに一層のご支援をお願いいたします。

CSR 報告

(1) 品質

1) 品質方針

徹底した品質管理と高い技術力で
信頼される製品づくりをめざします



弊社では、顧客満足の向上と安心できる環境づくりをめざし、品質・環境マネジメントシステムの改善を継続的に推進することにより、社会貢献するために、品質方針と環境方針を定めています。

品質方針

1. 私達は ISO9001 に基づく品質マネジメントシステムを構築し、その要求事項の適合と有効性の継続的改善に努めます。
2. 私達は製品の品質向上を目指し常にお客様の信頼とご満足を追求し続けます。

2006 年 1 月 5 日
株式会社 協立製作所
代表取締役 大谷津敏之

当社は、品質マネジメントシステムの継続的改善を推進するため、複数の外部審査を受けています（ISO9001、(社)日本配電制御システム工業会 JSIA 優良工場認定審査、(社)公共建築協会/電気設備機材等評価書（盤類/制御盤）、栃木県商工会連合会 商工会認証システムなど）。

2) 『盤ドック』サービス開始による焼損事故の撲滅

締付不良による焼損事故を撲滅することは、配電盤・制御盤メーカーとしての社会的責任と認識し、配電盤の熱画像による過熱箇所診断サービス『盤ドック』(商標登録番号:第5241322号)を2009年2月に開始しました。

『盤ドック』とは？

熱画像カメラ(サーモグラフィカメラ)を用いて配電盤および高圧キュービクル等の充電部の電気回路の**異常点**を発見する**非破壊検査**です。

締付不良・ネジの緩み等を原因とした**異常昇温による焼損事故**や事故の波及による**工場設備の稼働停止等**を未然に防ぐことに効果的です。

展示会でも大好評でした

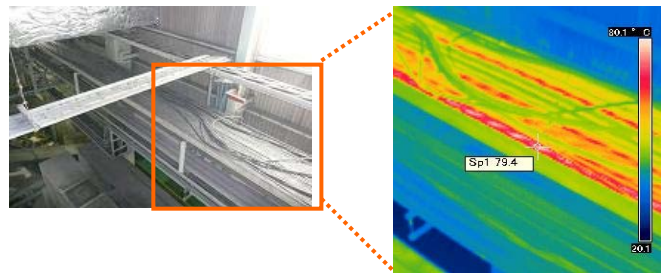


『盤ドック』展示会出展
2009年9月3日～4日(藤井産業(株)主催)
『環境・省エネ、安全・安心展示会&セミナー』
とちぎ産業交流センター(とちぎ産業創造プラザ内)



『盤ドック』案内用リーフレット

配電盤以外の箇所にも有効です



ケーブルラックの温度です(冬期で最高箇所79.4でした)。このように配電盤以外の箇所にも応用できます。



制御盤メーカースタッフによる専門的な検査です



『盤ドック』商標登録証

3)(社)日本配電制御システム工業会 JSIA 優良工場更新審査 平成 21 年 4 月 7 日

JSIA 優良工場審査センター長 成田博審査員 : JRCA 登録主任審査員 (A15932)

: CEAR 登録主任審査員 (A16331)



マニュアルや書類上のトレーサビリティについて確認を受ける当社担当者

JSIA 優良工場認定制度とは？

「JSIA 優良工場認定制度」は、“お客様の満足向上”を目的に創設された自主認定制度で、JISQ9001(ISO9001)を基本に、配電制御システムに関する設計・製造・検査などの優れた技術者を有する工場を認定しています。



品質管理体制について成田審査員から厳しいチェックを受ける当社製品



(社)日本配電制御システム工業会
JSIA 優良工場認定証

4) 内部品質監査員研修

平成 22 年 1 月 20 日 ~ 21 日

JSIA 優良工場内部品質監査員研修会

平成 22 年 1 月 20 日および 21 日の 2 日間にわたり、(社)日本配電制御システム工業会 (JSIA) の主催で、ISO9001:2008 年版による内部監査員研修が実施されました。



熱心に聴講する東京支部会員の受講生



内部品質監査のケーススタディ
(問題点の発見と指摘練習)



JSIA 優良工場内部品質監査員研修会 修了証書

研修で学んだ知識や経験を活かし、これからもシステムの継続的改善に努力していきたいと思えます。

5) 社内品質教育訓練の実施

会社組織としてISO9001、日本配電制御システム工業会 JSIA 優良工場認定、公共建築協会電気設備等評価書、栃木県商工会連合会認証システムなど経営品質に関する認証を複数取得していますが、組織を構成する従業員個人の技術・能力の向上をより重視し、社内での品質教育訓練を数多く実施しています。また、資格取得推進制度を設け、受験料・交通費等を会社が全額負担し、各個人の技術向上を後援しています。



品質保証グループによる耐電圧試験実施要綱の研修



電動機の始動方式の解説および自己保持回路の作成演習(若手従業員への指導)



教育訓練実施報告書として記録しています



締付トルク技量者認定試験盤と試験の実施



締付不良事故を絶対に起こさないためにも、社内で締付トルクの技量認定試験を毎年課しており、合格者には認定書を発行しています。



マイクロソルダリングオペレーター技術士による無鉛はんだへの切替に伴う技術研修



従業員が取得した電気工事施工管理・電験・技能検定等の賞状



制御盤・配電盤に関する各種の資格試験を網羅しています。さらに若手従業員の技能レベル向上をめざし、資格取得報奨制度を設けて、資格取得を推進しています。

取得公的資格の一部

- 1級電気工事施工管理技士
- 1級配電・制御盤組立技士
- 1級配電制御システム検査技士
- 1級配電・制御盤電気製図技能士
- 1級電気シカス制御技能士
- 第3種電気主任技術者
- 2級管工事施工管理技士
- 第1種電気工事士
- 第2種電気工事士
- 2級配電・制御盤組立技士
- 2級配電制御システム検査技士
- 2級配電・制御盤電気製図技能士
- 2級電気シカス制御技能士
- マイクロソルダリングオペレーター技術士
- 防犯設備士
- その他各種技能講習や特別教育など

6) ISO9001:2008・ISO14001:2004 維持審査

平成 22 年 1 月 22 日

DAS ジャパン (UKAS) による ISO9001 & ISO14001 の統合サーベイランスを受審しました。弊社は ISO9001 取得してから 10 年目、ISO14001 を取得してから 5 年目を迎えました。



経営者および管理責任者、各グループリーダー
(営業・購買・総務・設計・製造・品質保証)
が参加して実施した統合サーベイランス
《弊社会議室にて》



工場内現場審査
(作業者へ質問する審査員)



締付トルク技量認定試験盤の
説明を受ける審査員

品質および環境の両面にわたり数々のご指摘や改善の機会を与えていただきました。この結果、より効果的かつ効率的なシステム構築へステップアップすることができました。



当社が取得している品質マネジメントシステムの認証マーク



当社が取得している環境マネジメントシステムの認証マーク

7) 栃木県商工会連合会「商工会認証システム 2009」審査

平成 22 年 2 月 25 日

栃木県商工会連合会企業力ランクアップ事業「商工会認証システム 2009」の審査を受けました。

「商工会認証システム」は、会員企業の経営品質の向上および取引の活性化のふたつを目的として実施されます。「日本経営品質賞」の審査基準に基づく 8 つのカテゴリーの 40 設問に対して、選択肢の中から該当項目をチェックすることで、自社の強み、改善領域を知ることができるように設計がなされています。

㈱協立製作所では 2001 年にはじめての審査を受けてから今回で連続 7 回目の審査となりました（2001 年～2004 年には毎年、2005 年からは隔年の審査となっています）。



書類事項の確認審査



工場の現場審査

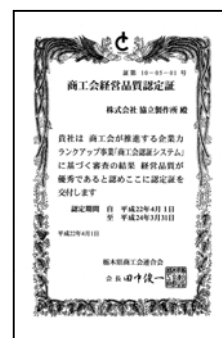
日本経営品質賞について

日本経営品質賞は、80年代の米国経済の復活に寄与したとされる米国国家品質賞「マルコム・ボルドリッジ国家品質賞（MB賞）」を範としており、わが国企業が国際的に競争力のある経営構造へ質的転換をはかるため、顧客視点から経営全体を運営し、自己革新を通じて新しい価値を創出し続けることのできる「卓越した経営の仕組み」を有する企業の表彰を目的とした（財）日本生産性本部（旧 社会経済生産性本部）が 1995 年 12 月に創設した表彰制度です。

審査には当社の経営層が立会い、書類審査および工場の現場審査を受けました。ISO 審査や JSIA 優良工場審査とは異なる視点から多くの指摘を受けることができ、企業経営において一層の改善を図ることができる審査でした。



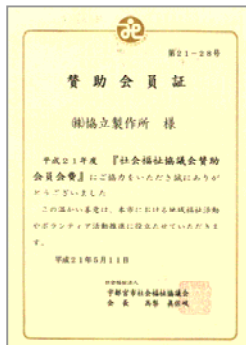
審査員からの製品についての質問を受ける弊社代表



商工会経営品質認定証

(2) 社会貢献

1) 社会福祉協議会や日本赤十字社等への寄付



賛助会員として、毎年、宇都宮市社会福祉協議会に『社会福祉協議会賛助会員会費』を協力しています。この会費は宇都宮市における地域福祉活動やボランティア活動推進に利用されます。また、弊社は日本赤十字社栃木県支部への寄付を行ない、日本赤十字社から表彰状を受けました。この日本赤十字社への寄付金は人道的な活動に利用されます。

2) 社会福祉法人ふるさとジョアンへの寄贈

平成 21 年 10 月 23 日

弊社地元にある社会福祉法人ふるさとジョアン様に『手づくりかりんとう』販売促進用の「宣伝のぼり」(大旗 5 旗・小旗 30 旗)を寄贈しました。店頭販売等の際にご利用いただいております。この施設の入所者は、『手づくりかりんとう』を製造・販売することで、社会復帰の訓練をしています。



大旗 5 旗・小旗 30 旗



施設長へ目録の贈呈



ふるさとジョアンのみなさんと一緒に記念撮影

3) 円滑な事業承継による従業員雇用の維持・確保

2008年10月に施行された「中小企業経営承継円滑化法」による経済産業大臣確認を栃木県内の第1号で受けました。



「中小企業経営承継円滑化法」とは、中小企業での後継者不足などによる事業承継が困難な状況が問題視される現状を解決するため、平成20年10月1日に施行された新しい事業承継税制についての法律です。

創業者所有の自社株を後継者に生前贈与する際、従業員の雇用維持などを条件に、贈与税の8割が納税猶予されます。

下野新聞 2009年6月6日掲載

弊社は、2010年4月に、「中小企業経営承継円滑化法」の経済産業大臣確認を受け、企業の若返りを図り、社長交代を致しました。代表取締役は大谷津敏之が就任し、前代表取締役の大谷津健敏は代表を退き会長に就任しました。

4) 宮まつり「宮の梵天」への参加

平成21年8月2日



当社からは6名の若手従業員が参加



宮まつり(宮の梵天)
二荒山神社鳥居前

「宮の梵天」は、宮まつりに旧河内地域から参加し、お祭りに参加することで各地域の交流を深めるといふ地域貢献活動としての意図があります。本町交差点から二荒山神社前、上河原交差点までを「梵天」で運行するイベントで、お囃子や神輿とともにお祭りを盛り上げることができました。

5) 応急手当講習の受講

平成 21 年 10 月 11 日

於) 宇都宮市消防本部 東消防署

従業員や弊社の近隣住民等が突然倒れてしまったときに可及的速やかに対応できるように、応急手当講習を受講しています。また、弊社では、AED を設置する予定です。工業団地内の人たちの突然の応急手当にも対応できるよう AED の利用を開放する予定です。



心肺蘇生法（CPR）と
AED（自動体外除細動器）の
使用方法の習得



心肺蘇生法の実施訓練（気道確保と人工呼吸）
頭部後屈あご先拳上法による気道確保の練習

6) 外部研修生の受け入れ

平成 21 年 12 月 14 日

白沢工業団地内の企業からの依頼を受け、CSR 活動のひとつとして、外部研修生の弊社工場見学を実施しました。PowerPoint を用いた説明により全体の概略をつかんでもらい、その後に工場内で実物の製品を見学していただきました。



弊社の概略についての説明



弊社の製品や品質・環境活動についての説明を熱心に聴講する外部研修生

7) 宇都宮市まちづくり貢献企業認証

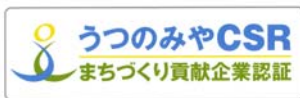
平成 21 年 11 月 27 日



宇都宮市長佐藤栄一氏から
認証書（楯）を受領する弊社社長



宇都宮市長と一緒に記念撮影



受領した認定書（楯）

『宇都宮まちづくり貢献企業認証制度』は、「人づくり」「まちづくり」「環境」などの CSR（企業の社会的責任）活動を宇都宮市のまちづくりの重要な仕組みと位置づけ、活動に取り組む企業を、「宇都宮まちづくり貢献企業」として認証し、様々な分野での活動を支援・推奨することによって、企業・市民・行政の協働のまちづくりを行なっていくことを目的とした制度です。平成 21 年度は 32 社が認証を受けました。

8) 宇都宮市雇用優良事業所表彰

平成 22 年 2 月 15 日

平成 21 年度『宇都宮市雇用優良事業所表彰』において『優秀事業所賞』を受賞し、宇都宮市長佐藤栄一氏から表彰を受けました。



宇都宮市長と一緒に記念撮影



宇都宮市長と歓談
する弊社代表



雇用優良事業所表彰の
表彰楯（優秀事業所賞）



下野新聞 2010 年 3 月 3 日掲載

「働きやすい職場づくり部門」や「安全安心して働ける部門」ほか、全部で 4 部門が表彰の対象とされました。また、表彰式後の市長との歓談では、弊社が「中小企業経営承継円滑化法」による経済産業大臣の確認を、栃木県第 1 号で受けたことなどをお話しました。

(3) 安全

1) 自動車運転に関する安全配慮

弊社は安全運転管理者選任事業所です。

従業員の業務中の安全を図るため、様々な施策を行なっています。

ドライブレコーダーの設置



ドライブレコーダーとドライブレコーダーを設置した社用車



夜間に子犬の急な飛び出しにブレーキを踏み、ドライブレコーダーが反応した映像

SDカードの取得

弊社では、毎年、全従業員のSDカードを申請・取得し、各自に配付しています。SDカードをもつことで、各自に安全運転の意識付けをしています。

エコドライブの実践

安全運転につながるように、エコドライブを推奨しています。各社用車月別の燃費グラフを掲示し、エコドライブの成果を開示しています。また、エコドライブコンテストにも参加しています。



エコドライブコンテストの参加登録証明書



全社用車に貼付して啓蒙・意識向上に努めています

無災害記録表の掲示



無災害記録表を玄関口に掲げ、毎日記録していくことで安全意識の向上を図っています。

2) 防災訓練

平成 21 年 11 月 7 日

毎年、冬期を迎える時期に、防災訓練を実施しています。地元消防団に所属する弊社の従業員を講師として、消火器の使い方や使用期間の確認・消火器の配置場所・火災報知器の動作確認・簡易消火器による消火訓練等を実施しています。



消防団員から火災時の注意を講義



消防団員との消火器の使用方法等の確認



消火器の本数・配置場所
使用有効期限を確認



<http://www.kyoritsu-ss.com>

発行元

株式会社 協立製作所 環境・CSR 委員会

2010 年 5 月発行

この「環境・CSR 報告書 2010」は弊社ホームページでも御覧いただけます

お問い合わせ等はこちらまでお願いします

〒329-1102 栃木県宇都宮市白沢町 1825-4

TEL 028-673-6331(代) FAX028-673-6333

URL : <http://www.kyoritsu-ss.com>

e-mail : kyoritsu@dream.com